

本日の流れ

心豊かな子育て支援と移住・定住支援策について
～20年後の鮫川村の暮らし～

①さめがわKITプロジェクトの発足

②プロジェクトチームの取組み

③提言内容のテーマ設定

④提言内容の発表

- ・心豊かな子育て支援と移住・定住支援がある鮫川村の暮らし
- ・チームメンバーが考えたライフスタイルデザイン

さめがわKITプロジェクト

2

本日の流れ

①さめがわKITプロジェクトの発足

②プロジェクトチームの取組み

③提言内容のテーマ設定

④提言内容の発表

- ・心豊かな子育て支援と移住・定住支援がある鮫川村の暮らし
- ・チームメンバーが考えたライフスタイルデザイン

3

鮫川村人口ビジョン・総合戦略（令和3年～令和6年）

基本理念

村民の幸福度向上

【世代を継ぎ 人を睦む 村づくり】

目標1：賑わいのある村づくりと人づくり

- ① ふるさとキャリア教育と子育て支援プロジェクト
- ③ 移住・定住支援
空き家の活用プロジェクト
- ⑤ 観光資源の活用と交流・
関係人口増加プロジェクト
- ⑥ 村民の生涯現役プロジェクト
- ⑦ 館山公園を核とした
中心地域活性化プロジェクト

目標2：稼ぐ力と雇用創出

- ② 産業振興と
担い手育成・創業支援プロジェクト
- ④ 環境維持に向けた組織化と
雇用創出プロジェクト
- ⑧ 村にお金を落とす仕組みづくり
「お互いさま運動」推進プロジェクト

4

プロジェクトチームの発足

- ・人口減少に歯止めをかける
若者定住・子育て支援
- ・各課からの推薦により選出
- ・柔軟な発想により、
鮫川村のあるべき姿を政策提案

令和4年度メンバー

課・係	名前	役職
総務課企画情報係	宇佐見 純平	班長
総務課財政係	原 聡志	庶務
住民福祉課福祉係	八代 翔	副班長
農林商工課農政係	関根 成人	
農林商工課商工観光係	藤田 冬華	
地域整備課建設係	矢吹 夏希	
教育課生涯学習係	中川西 伯仁	
農業委員会	阿久津 翔	
こどもセンター	岡部 和彦	

5

さめがわKITプロジェクトチーム

さめがわKITプロジェクト 通称S-KITプロジェクト

Samegawa (さめがわ)

Kosodate (子育て)

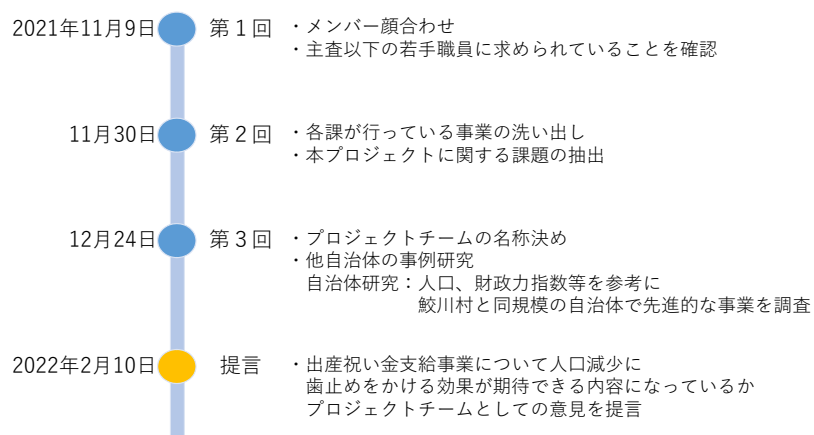
Ijuu (移住)

Teijuu (定住)

KIT (キット) には英語で「道具・一式」という意味があり、日本語「きっと」には「確実に行われる様、必ず~だろう」という強い確信に満ちた意味がある。

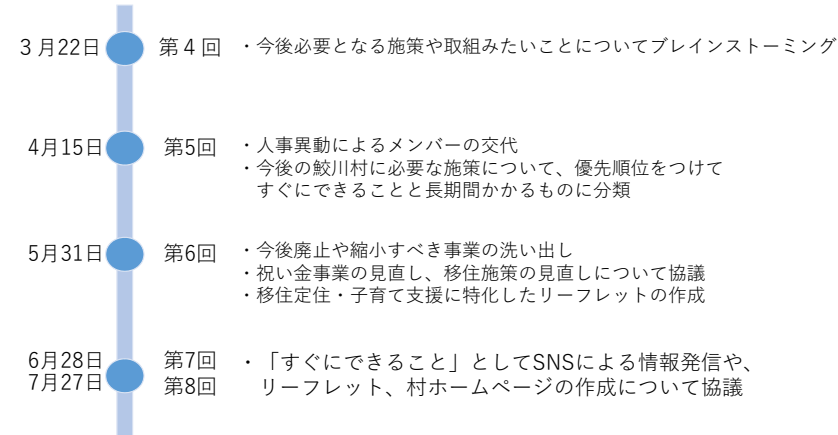
6

プロジェクトチーム発足から提言の発表に至るまで



7

プロジェクトチーム発足から提言の発表に至るまで



8

プロジェクトチーム発足から提言の発表に至るまで

- 8月5日 ● 第9回 ・20年後の鮫川村を想定して、心豊かなライフスタイルデザインを作成
東京都市大学の古川教授、東北大学の三橋特任助教からアドバイスをいただく
- 8月24日 ● 第10回 ・先生方からのアドバイスを反映させたライフスタイルデザインをチーム内で共有
・ホームページ、リーフレットの進捗状況確認
- 9月14日 ● 第11回 ・結婚祝い金制度の改善に関する提言書の協議
・ライフスタイルデザインをもとに政策体系図を作成
- 10月7日 ● 提言 ・結婚祝い金制度の改善に関する提言書
- 10月18日 ● 第12回
- 10月27日 ● 第13回 ・20年後の鮫川村がどのようなシステムで動いているのかを図式化
- 11月22日 ● 第14回

9

プロジェクトチーム発足から提言の発表に至るまで

- 12月21日 ● 第15回 ・発表内容の協議
- 2023年2月10日 ● 第16回 ・発表会に向けて作成したスライドの確認
- 2月28日 ● 第17回
- 3月10日 ● 第18回 ・さめがわKITプロジェクトの意義と
提言内容を発表する意味について再確認
- 3月22日 ● 第19回
- 4月14日 ● 第20回 ・前回の共通認識を踏まえ、発表スライドの修正と発表練習
- 4月20日 ● 第21回
- 4月26日 ● 提言発表会

10

本日の流れ

- ①さめがわKITプロジェクトの発足から発表まで
- ②プロジェクトチームの取組み
- ③提言内容のテーマ設定
- ④提言内容の発表

- ・心豊かな子育て支援と移住・定住支援がある鮫川村の暮らし
- ・チームメンバーが考えたライフスタイルデザイン

11

移住定住・子育て支援に特化したリーフレットの作成



村HPで公開するとともに、ふるさと回帰フェアで来場者へ配布。

12



村HPへのリンク



令和4年9月の公開から令和5年4月までのアクセス数：約1,500件

本日の流れ

- ①さめがわKITプロジェクトの発足から発表まで
- ②プロジェクトチームの取組み
- ③提言内容のテーマ設定
- ④提言内容の発表
 - ・心豊かな子育て支援と移住・定住支援がある鯉川村の暮らし
 - ・チームメンバーが考えたライフスタイルデザイン

テーマ背景

- ◆人口減少が深刻化。高齢者人口がピークを迎える2040年。
- ◆総務省の「自治体戦略2040構想研究会」によると…
 - ・人口減少が進む2040年頃には、自治体は、さらに少ない職員数での行政運営が必要となる可能性がある。
 - ・新しい公共私間の協力関係を構築し、暮らしの担い手の確保を図る必要がある。



今後、様々な制約を受ける中であっても、鯉川村での子育て支援と移住定住の観点から心豊かな暮らしとはどういうものかを考え、描いた将来像を実現するための社会の仕組み（行政の役割）について調査研究を行い、提言をまとめることとしました。

90歳前後の高齢者は…

- ・物が少なく、不便が多い暮らし
→再利用、工夫
- ・地域の特色を活かした暮らし
→地産地消、川で洗濯

昔はよかったな…



制約が多い（不便な）暮らしの中でも心豊かに生活していた

バックキャスト手法

対して、現代は便利な世の中になっているが...

➡ 将来的に不便な（制約の多い）暮らし
となることが予想される※ 総務省「自治体戦略2040構想研究会」

制約を受け入れ、
心豊かに暮らすためのヒントを得る

昔の生活に戻る
わけではない

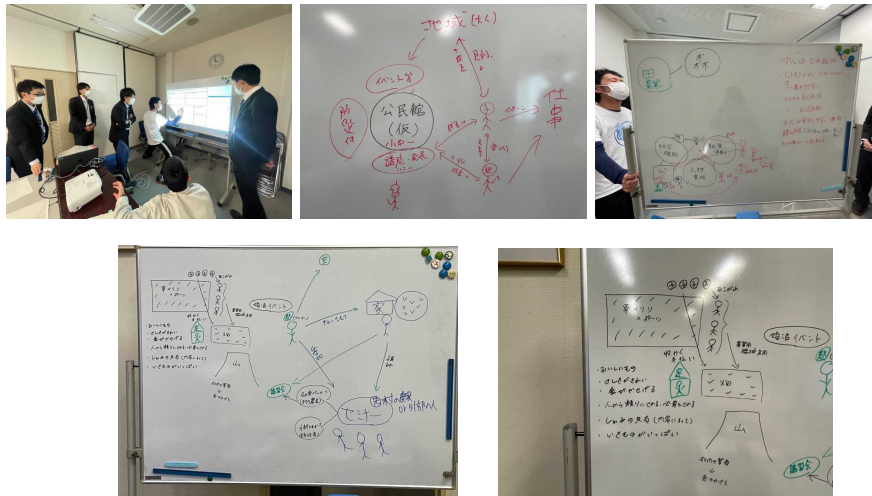
フォアキャスト手法による政策提案

- ・現状分析から課題を洗い出し、解決策を考える

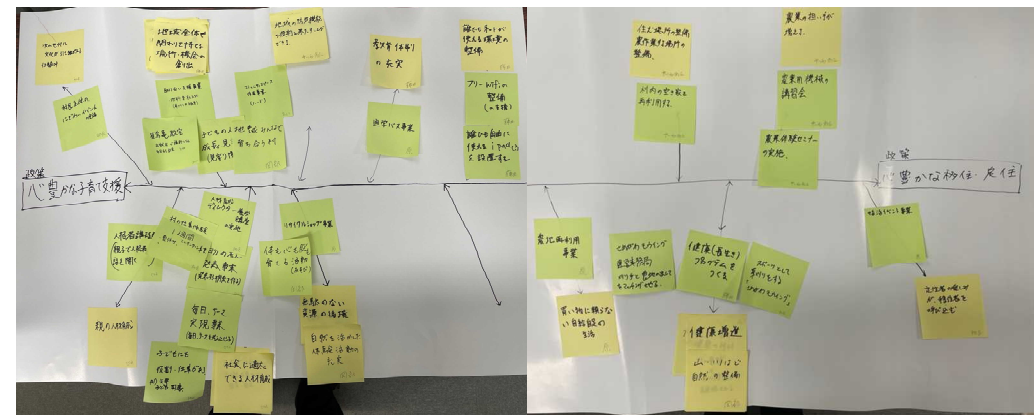
バックキャスト手法による政策提案

- ・制約を肯定した将来像から取り組むべき課題と対策
を考える
⇒あるべき姿に向かうための施策を考える

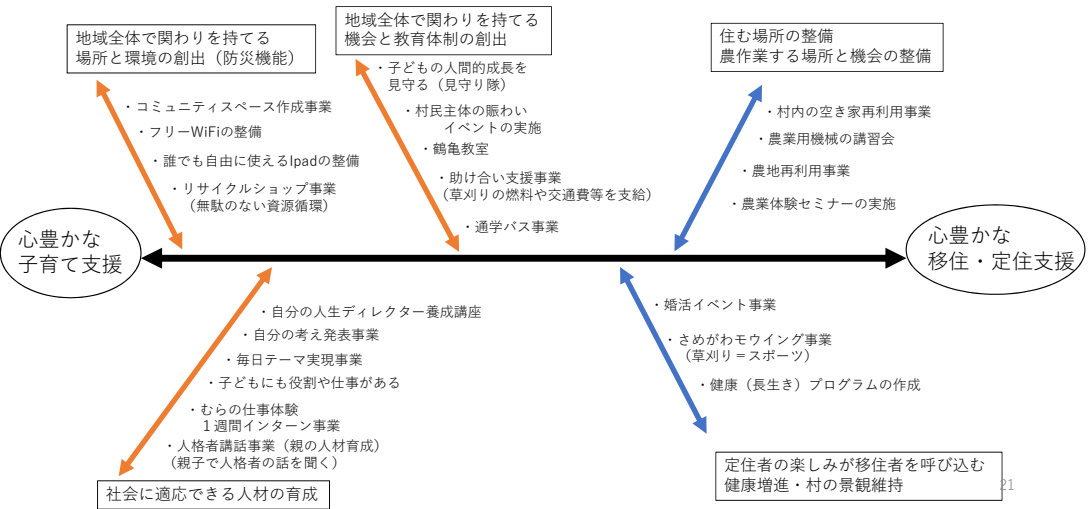
今回はこっち



フィッシュボーン分析（政策、施策、事業の関係を図式化）



フィッシュボーン分析（政策、施策、事業の関係を図式化）



本日の流れ

- ①さめがわKITプロジェクトの発足から発表まで
- ②プロジェクトチームの取組み
- ③提言内容のテーマ設定

④提言内容の発表

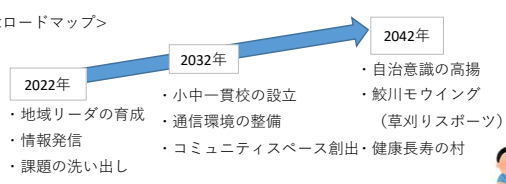
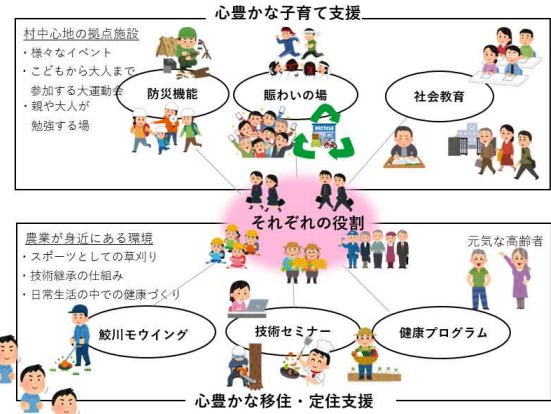
- ・心豊かな子育て支援と移住・定住支援がある鮫川村の暮らし
- ・チームメンバーが考えたライフスタイルデザイン

ライフスタイルコンセプト 心豊かな子育て支援と移住・定住支援がある鮫川村の暮らし

チームメンバーが考えた ライフスタイルデザイン

- <制約> 20年後の鮫川村における制約
- ・地球温暖化による異常気象がもたらす災害の増加
 - ・化石燃料の高騰や資源の枯渇
 - ・生産年齢人口の減少と高齢化による担い手不足
 - ・自治意識の低下
 - ・税収、地方交付税の減少により財源が不足する
 - ・荒廃農地の増加

<システム概要> 20年後の鮫川村のあるべき姿



- ・藤田 冬華
- ・原 聡志
- ・岡部 和彦
- ・関根 成人
- ・八代 翔
- ・阿久津 翔
- ・中川西 伯仁
- ・宇佐見 純平